

JAERA

NEWS LETTER

一般社団法人日本自動車リサイクル機構 ニュースレター

□巻頭言 / 新型コロナウイルスの影響について（アンケート調査結果）… P1・P2・P3

□鉄スクラップ最新情報… P4

□行事予定・お知らせ / 編集後記… P5

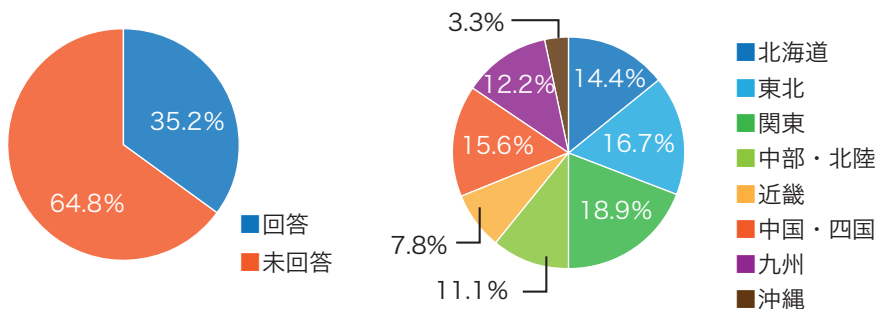
vol. **134**

新型コロナウイルスの影響について （アンケート調査結果）

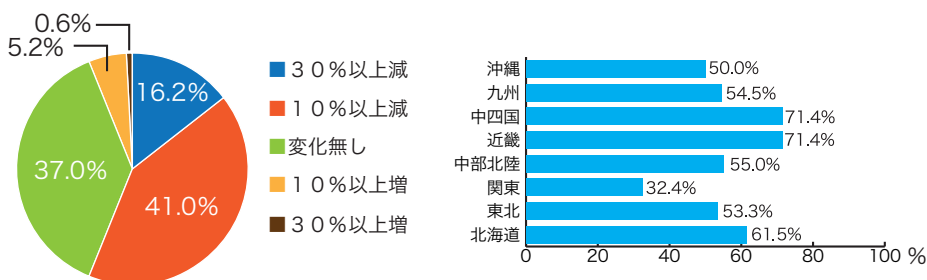
01

JAERA 広報部にて会員の皆様に「新型コロナウイルスによる事業への影響アンケート」を実施いたしました。
その集計結果を報告いたします。
（アンケート調査期間 3 月 14 日～3 月 31 日）

本内容は、経済産業省・環境省・関係団体等にも自動車リサイクル業界の現状として報告しております。両省からは、国が進めている事業者への対策・支援などの最新情報の提供を受け、随時メルマガにて情報発信しておりますので、確認の上ご活用下さい。



■「車の入庫について」（前年同月比でお答えください）



- ・回答者の 57.2% が前年同月比で減少と回答。（30%以上の減少は全体の 16.2%）
- ・全国的には、関東を除き全ての地域で 5 割を超えている。
- ・中・四国、近畿においては、7 割を超える事業者が減少と回答。

巻頭言

3 月中旬に広報部で会員の皆様へアンケートを取らせていただきました。

調査時は、今と比べ未だ影響が少なかったように思います。現在は、海外への車や部品の一部輸出が止まり、自動車メーカーの生産休止の動きや建設工事の中止により、国内鉄スクラップ需要の減少が強くみられるようになりました。

広報部としても新型コロナウイルス対策について、感染予防・対処・対策の面、助成金や補助金など様々な情報を分かり易くお伝えしていきたいと考えています。

同時に会員の皆様から生の声を頂戴し、生きた情報を発信していきたいと思っておりますのでご協力の程、宜しくお願い致します。

〈広報部会 木村 香奈子〉

《編集・発行責任者》

一般社団法人日本自動車リサイクル機構
広報部会長 永田 則男

《お問い合わせ先》

一般社団法人日本自動車リサイクル機構
〒105-0004

東京都港区新橋3丁目2番2号

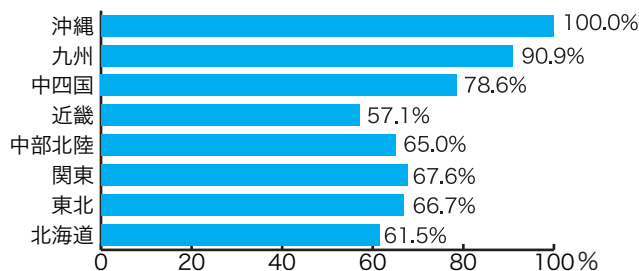
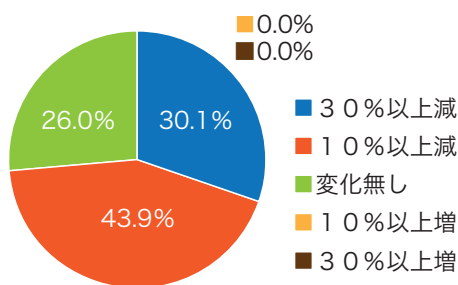
TEL: 03-3519-5181

FAX: 03-3597-5171

MAIL: jaera-homepage@elv.or.jp

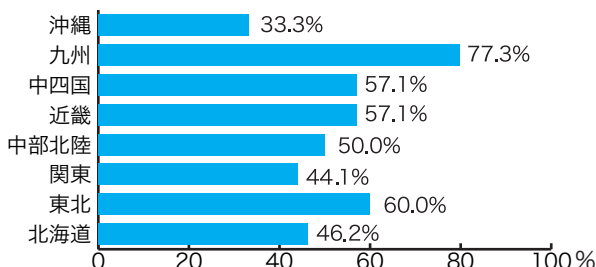
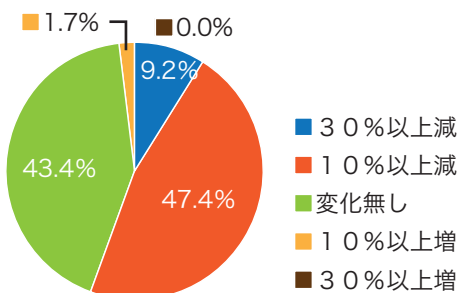
H P: <http://www.elv.or.jp/>

■「鉄・スクラップの価格」(前月比でお答えください)



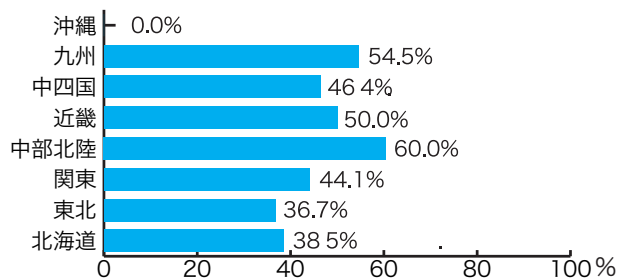
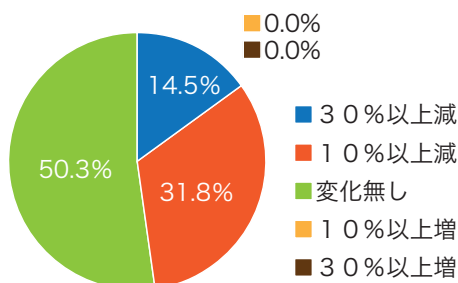
- ・回答者の74%が前月より下落と回答。(30%以上の減少は、全体の30.1%)
- ・全国的に6割を超える事業者が下落と回答。
- ・沖縄、九州、中・四国においては、8割を超える事業者の回答となっている。

■「部品販売(国内向け)」(前月比でお答えください)



- ・回答者の56.6%が前月比で減少と回答。(30%以上の減少は、全体の9.2%)
- ・全国的には、約5割以上が減少と回答。
- ・九州では、約8割の事業者が減少と回答。

■「部品販売(外国向け)」



- ・回答者の46.3%が減少と回答。(30%以上の減少は、全体の14.5%)
- ・全国的には、3割から6割が減少と回答。
- ・中部北陸では、6割の事業者が減少と回答。

■新型コロナウイルスの影響「その他：一番大変な事・心配な事は」

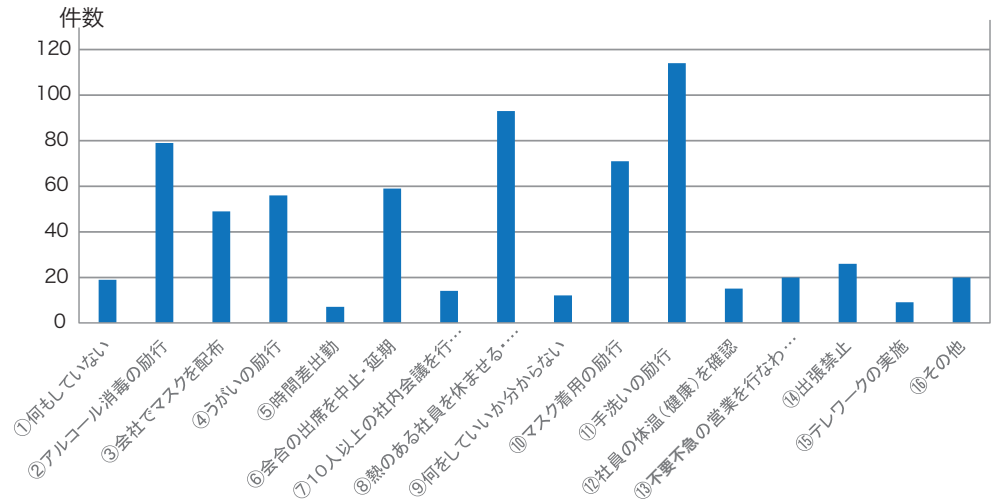
(総数 182 件 / コメント数 92 件 50.5%)

- ・車の在庫の減少：6件
- ・今後の予測がつかない、いつまで続くのか先が見えないなど：11件
- ・社内で感染者が出ること(休業、取引先訪問、操業/営業停止、集団感染、売上減、社員の給与、採用、配置など)その場合の対応：25件
- ・マスク不足、消毒液不足：8件
- ・社員の発熱、子供の面倒などで会社を休む、時短：13件(業務の遅れ、物流の停止などへ影響)
- ・鉄・非鉄スクラップの下落：8件(銅、アルミ、プレス、ハーネスなど含む)
- ・外国人バイヤーが来ない、来たがらない、帰国/入国できない：10件(買控え)
- ・資金繰り：2件
- ・国内部品が売れない：1件
- ・風評被害：1件
- ・この先も新車販売の落ち込みや解体車両の減少があると思うので・・・。実際の新車販売台数等の数字もニュースレターで取り上げてもらえると助かる。：1件

新型コロナウイルス感染症への対策

会員の皆様へ「新型コロナウイルスによる事業への影響アンケート」の中で、社内にて実施されている対策について質問しました。

- ①何もしていない
- ②アルコール消毒の励行
- ③会社でマスクを配布
- ④うがいの励行
- ⑤時間差出勤
- ⑥会合の出席を中止・延期
- ⑦10人以上の社内会議を行わない
- ⑧熱のある社員を休ませる・無理して出勤させない
- ⑨何をしていたか分からない
- ⑩マスク着用の励行
- ⑪手洗いの励行
- ⑫社員の体温（健康）を確認
- ⑬不要不急の営業を行わない
- ⑭出張禁止
- ⑮テレワークの実施
- ⑯その他



多くの会員様が「手洗い・マスクの着用・アルコール消毒」などの予防措置をとられていることが分かりました。

新型コロナウイルス感染症対策に関しては、デマや誤情報も増えており正確な情報を随時確認することが重要です。以下に関連情報ページを掲載させていただきます。

会員様におかれましては社内掲示等に活用頂き、感染症予防に引き続き留意頂きますようお願いいたします。

■新型コロナウイルス感染症の予防 厚生労働省

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_00094.html

■新型コロナウイルス感染症に備えて 首相官邸

<https://www.kantei.go.jp/jp/headline/kansensho/coronavirus.html>

■新型コロナウイルスに関する Q&A（企業の方向け） 厚生労働省

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/dengue_fever_qa_00007.html

■新型コロナウイルス関連支援策（経済産業省より提供）

中企庁のウェブサイトで、持続化給付金に関してわかりやすくまとめられた動画が公開されています。

<https://youtu.be/r2h035U4lcl>

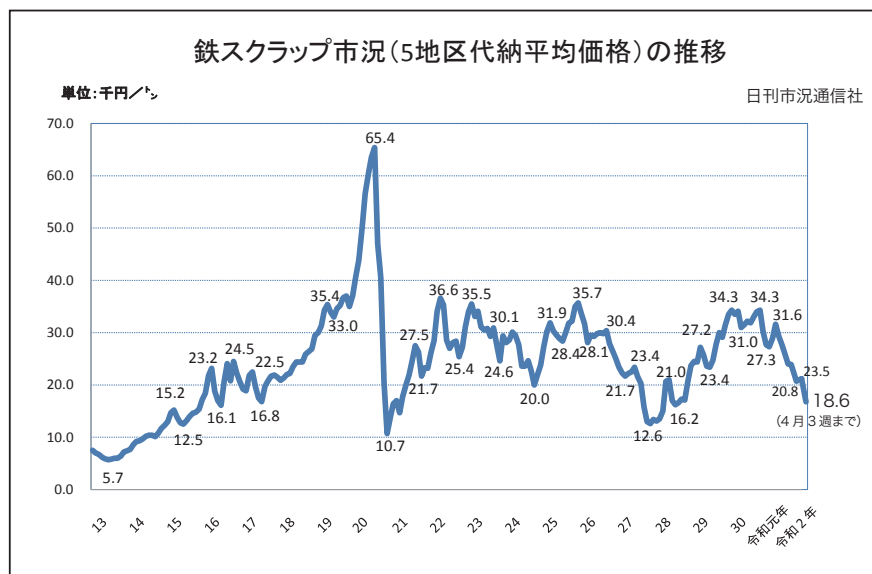
※内容としては、先日メルマガにてお知らせいたしました 4/13 付け公開の「持続化給付金に関するお知らせ」

(<https://www.meti.go.jp/covid-19/pdf/kyufukin.pdf>)



4月第4週(20日)の鉄スクラップ動向

鉄スクラップ市況(5地区代納平均価格)の推移



4月20日の国内スクラップ炉前実勢価格(中心値)

		H2	気配
関東	北関東	18,500 ~ 20,000	軟調様子見
	南関東	18,500 ~ 20,000	軟調様子見
名古屋		17,500 ~ 19,000	軟調様子見
関西	大阪	19,000 ~ 21,500	弱含み
	姫路	19,000 ~ 20,000	弱含み

全国に緊急事態宣言 需給に影響 ゼネコンの工事中断広がる

新型コロナウイルスの感染拡大を受けて政府は4月16日、改正新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく緊急事態宣言の対象範囲を全国に拡大した。また、すでに4月7日から緊急事態宣言の対象としては7都府県に加え、北海道、茨城県、石川県、岐阜県、愛知県、京都府の13都道府県を「特定警戒都道府県」に指定した。

清水建設や大林組など建設各社の間に、7都府県の原則として工事を中止する動きが出ていたが、緊急事態宣言の対象が全国に拡大したことで、さらにこうした対応が広がる可能性がある。鉄筋など建設用鋼材のデリバリーが先送りされることで、国内電炉の生産動向への影響は必至。今後の国内鉄スクラップ需要を減少させる要因となりそうだ。

また、自動車メーカーなどで生産休止の動きが広がり、これら向けの鋼材需要が減少。高炉筋も高炉のバンキングなどで生産調整を実施する動きとなっている。こうした動きの中で、電炉筋の間に減産強化の動きが出る可能性は高い。一方、建設工事の中断や製造工場の稼働休止は、鉄スクラップの発生を減少させる要因となる。供給減は相場の下支え材料となるが、市中問屋筋の間では扱い量減への懸念が広がっている。新型コロナウイルスの感染拡大とその対応が需給双方に影響を及ぼしている。

【関東地区】 需給双方に先安観 軟調推移続く

関東市場の鉄スクラップ市況は、軟調さを残したままの推移を続けている。コロナ問題を受けて、ゼネコンの工事中止対応が広がっており、建設用鋼材の需要量が落ち込む見通しとなっていることから、電炉鋼生産のさらなる減産が予想される状況だ。4月17日時点の関東市場のH2炉前実勢価格は19,000～20,000円中心。一部安値筋は18,500円もある。浜値は電炉買値と同水準で推移しており、17日時点のH2浜値は19,500～20,000円中心。

【東海地区】 電炉筋は様子見姿勢も工場発生系の減少が顕著に

名古屋地区の電炉筋は、4月11日から14日にかけて500円がたの値下げを実施した後は様子見の姿勢にある。ただ、減産下のため荷受け制限などを継続し入荷量を抑制している。工場発生系のスクラップは減少傾向が顕著な上、5月以降においても既に自動車メーカーでは一部ラインの停止による生産調整の実施を発表しており、底が見えにくい状況だ。4月17日時点のH2炉前実勢価格は17,500～18,500円中心、高値19,000円。

【関西地区】 電炉の高値調整下げもあり弱含み

大阪地区の市況は弱含み。一部電炉の制限買いの影響による入荷増を背景に高値調整下げに踏み切る動きもあり、これが他社の価格対応にも影響を与える可能性が高い。4月中旬から制限買いを強化する動きもあるが、下旬以降、電炉筋によっては大型連休の操業に向けて一定の入荷を維持する必要があるとみられる。4月17日時点のH2炉前実勢価格は、大阪地区が19,000～21,000円中心、高値21,500円。姫路地区が19,000～20,000円中心。

(※価格、数量等は日刊市況通信社調べ、4月20日午前時点のもの)

行事予定

ー 5月の主な行事予定ー

※広報部会、常任役員会、テレビ会議での予定です。

※会議、イベント等の中止や自粛が進められているため、急遽、日程の変更・延期の場合がございます

■5月14日(木)

2019年度高度化財団事業最終報告会
「ベースリサイクル実態調査」

■5月15日(金)

第2回広報部会

■5月20日(水)

第1回自動車リサイクル推進会議(延期)

■5月21日(木)

第1回常任役員会

May

お知らせ

【駆動用HVバッテリー共同出荷事業】の報告

2019年度集荷分データ報告と2020年度事業実施のご案内

1. 2019年度集荷分データ報告

「駆動用HVバッテリー共同出荷事業」につきまして、2019年度集荷分データを以下のとおり報告させていただきます。

ご参加いただきました会員の皆様、誠にありがとうございました。

＜参加者数＞ JAERA 会員事業所 74 社

＜集荷期間＞ 2019年4月～2020年3月

＜集荷量＞

プリウス 20	プリウス 30	プリウス α	アクア	カローラアクシオ / フィルダ	レクサス GS450H	クラウン GWS204
354 個	250 個	6 個	105 個	2 個	2 個	1 個

クラウン ASW210	SAI/ レクサス HS250H	カムリ ハイブリッド	デュトロ	不良品 A	不良品 B	不良品 C	合 計
1 個	7 個	2 個	4 個	59 個	10 個	28 個	831 個

★ブロック・地域ごとの詳細データはこちら↓

http://www.elv.or.jp/media/5/20200417-2019_HV_20200416.pdf

2. 2020年度事業実施のご案内

2020年度も継続して事業を実施いたします。実施内容は本年2月にご案内しました「対象品目追加及び価格改正に関するご案内」の内容と変わりませんので、下記リンク先より昨年度の資料をご確認いただき、ぜひご参加をお願いいたします。

【2020年度事業実施のご案内】 <http://elv.or.jp/index.php?itemid=1653>

編集後記

日本の春といえば桜。今年はその象徴である桜をのんびりと堪能する楽しみを奪われた感があります。言わずもがな、新型コロナウイルスの影響による自粛によって、今年は日本全国のお花見がおあずけとなりました。そのようなイベントのみならず、在宅勤務など仕事のやり方までが否応なしに変わってきています。

一方で、パンデミックによるロックダウンによってもたらされた思いも寄らぬニュースもあります。世界各国がウイルス感染拡大防止対策で打ち出した、外出規制や工場の稼働停止によって、二酸化炭素排出量が目に見えて低下している様子が、衛星画像でもはっきり確認できるということです。インド北部では、200キロ離れたヒマラヤ山脈が数十年ぶりに見晴らせるようになったとか。これもロックダウンによる環境改善の恩恵のようです。思いもよらぬ副産物といえます。しかし、やがてパンデミックも収束し、工場は稼働を始め、交通機関も再び活動を始めることでしょう。そうであっても、澄んだ空に見渡せるヒマラヤ山脈は東の間の春ではないことを祈りたいものです。

(広報部会 部会長 永田 則男)